

第 1 学年	教科名	国語科	名張市立赤目中学校 2025
--------	-----	-----	----------------

○ 学習のねらい

- ・授業に積極的に取り組み、国語に対する興味関心を高める。
- ・自分の見方や考え方を深め、表現の仕方に注意して、話すこと、聞くこと、書くことができるようにする。
- ・様々な文章を読み、目的や意図に応じて読み取る能力を育てる。
- ・国語の基礎的な事項や知識を身につけさせる。
- ・社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

○ 学習の仕方

使用教材	教科書 現代の国語 1 (三省堂) 副教材 すらすら基本文法 (浜島書店) 学習漢字ノート (浜島書店) 国語の学習 1 (明治図書)	もちもの	教科書 漢字ワーク ワーク ファイル
学習の進め方	<授業> ○授業に集中して取り組む。 ○教科書を中心にして学習を進める。その他ワーク・ワークシート・プリント・視聴覚教材・辞書を活用する。 ○発表・音読・スピーチ・表現活動や読書など個々の活動を取り入れる工夫を行い、興味・関心を高める。 ○人の発表や発言を聞き、自分の考えは挙手してはっきりと述べる。 ○見やすく、使いやすい自分のノートを作る。 ○家庭学習（予習、復習）を毎日する。 ○本や新聞を継続的に読む。 ○今までに学習して得てきた語彙力や表現力を用いて、人によりよく伝える。 <定期テスト> ○学期ごとのテスト範囲をテスト発表時に必ず確認する。 ○授業で学んだことを問題集を使って再確認する。 ○教科書を音読し、内容や大事なフレーズを確認する。 ○既習・新出漢字を学習する。 <家庭学習> ○教科書を音読し、詩や俳句、大事なフレーズを暗唱する。 ○辞書を使って言葉や漢字の意味や読みを調べる。 ○問題集を使って、単元の復習をする。 ○教科書の詩や短歌・俳句、古文・漢文などを自分で創作したり発表したりする。 ○物語や小説、新聞をできるだけたくさん読み、自分の感想をもつ。 ○人に意見を伝える機会をつくる。 ○テーマに沿って、自分の思いや考えを作文で表す。 ○既習・新出漢字を学習し、漢字検定にも挑戦する。		

				評価にあたって		
学期	月	単 元 計 画	試 験	評 価 観 点		評価の場面・方法
1	4	・朝のリレー ・竜 ・グループディスカッション	中間 テ ス ト	知 識 ・ 技 能	・文法、漢字などの国語に関する基礎的な事項について、理解している。 ・書写では、楷書の書き方と行書の基礎的な書き方を理解し、文字の大きさ、配列・配置に気を付けて書く。 ・文脈の中における語句の効果的な使い方について理解している。 ・文章の構成や展開、説明や描写などの表現の仕方や、文体など文章の特徴に注意している。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・授業観察 ・書写の書き方 ・漢字テスト ・定期テストなど
	5	・音声のしくみとはたらき ・ペンギンの防寒着 ・クジラの飲み水				
	6	・活字と手書き文字 ・レポート ・空中ブランコ乗りのキキ				
	7	・ことばの単位・文節の関係 ・字のない葉書				
2	9	・随筆 ・成り立ちと部首 ・本を読むことのおもしろさ	中間 テ ス ト	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	・授業中に、積極的に発表できる。話し手の意図を考えて話の内容を聞き取れる。(聞き取りテストなど) ・身近な生活における話題について関心をもち、自分の考えを進んで話そうとする。 ・目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ・相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。	・授業での発言内容 ・授業での発表など
	10	・1000 円の価値を考える ・接続する語句・指示する語句 ・スピーチ ・月を思う心				
	11	・竹取物語 ・古典の仮名遣い ・故事成語-矛盾- ・訓読の仕方 ・漢字の音と訓				
	12	・防災に関するデータ ・「みんなでいるから大丈夫さ」の怖さ ・行事案内のリーフレット ・方言と共通語				
3	1	・それだけでいい ・比喩・倒置・反復・対句・体言止め ・思いや発見をリズムに乗せる	学 年 末 テ ス ト	主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	・授業に集中することができる。 ・授業に積極的に参加（発表など）できる。 ・ノート、ワーク、プリント、読書活動などに自ら丁寧に取り組むことができる。 ・家庭学習に継続して取り組むことができる。 ・粘り強く表現を工夫し、学習の見通しをもって自分の考えを紹介しようとしている。	・授業観察 ・ワークなどの取り組み ・家庭学習の内容
	2	・トロッコ ・芥川龍之介の世界 ・私が選ぶこの一文				
	3	・コミュニケーションを考える ・意見文 ・少年の日の思い出 ・単語の種類・品詞 ・グループ新聞				

